

【高等学校用】

令和5年度学校評価 計画

達成度(評価)
 A: 十分達成できている
 B: おおむね達成できている
 C: やや不十分である
 D: 不十分である

学校名	佐賀県立唐津南高等学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得への取り組みは十分にできたが、進路希望達成へとつながる基礎学力の向上には改善の余地がある。 挨拶や礼儀作法など、将来の社会人としての資質向上につながる教育には課題が残る。他者への思いやりや郷土愛を育む教育への取り組みにも、一層力を注ぐ必要がある。 コロナ禍でも、地域貢献活動や、地域の各団体との連携による商品開発やメニュー提供、交流活動などを行うことができた。中学生の志願倍率向上のためにも、今後さらに地域とともにある学校づくりに邁進したい。 教職員の時間外在校等時間は減少傾向にある。働き方改革推進としての業務の見直し等は、教職員のモチベーション維持にも配慮し、学校活性化につながるよう留意しながら行いたい。
2 学校教育目標	農業農業と家庭の専門教育を通して、地域社会に貢献できる有為な人材を育成する。 (1) 素直な心で学ぶ意欲と態度を養成する。 (2) 専門的な知識・技術を習得し、自ら実践する態度を養成する。 (3) 豊かな人間性や社会を生き抜く力を養成する。 (4) 勤労、責任、協力を重んじる生活態度を養成する。
3 本年度の重点目標	スローガン『創造と挑戦 “みなみ”から更なる高みへ!』 (1) 基礎・基本の定着と学力向上を図り、確かな学力のもとに、より高い目標による進路実現を目指す。 (2) 元気な挨拶、礼儀作法を身に付け、優しさや思いやりの心を醸成し、将来社会人としての資質向上を目指す。 (3) 地域との連携を強化し、地域資源の活用や地域貢献を推進する。また、適宜情報発信を行うことで、地域に根ざした信頼される学校づくりを目指す。 (4) 働き方を再考し、業務改善を推進することで職場環境の最適化を目指す。

4 重点取組内容・成果指標				中間評価	5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価		意見や提言
●学力の向上	○専門的な知識や技術の向上	○卒業までに複数の3級以上の資格を取得した者を80%以上にする。 ○日本農業技術検定3級合格者を75%以上にする。 ○家庭科技術検定4級、3級、2級(被食)の合格率100%を目指す。	・資格は取得しなければならないものという意識を徹底し、積極的に取り組む姿勢を高める。 ・各科、各教科ごとに全体指導、個別指導を徹底し、合格率を向上させる。							・専門部長 ・教頭
	○生徒の学習意欲の向上と自ら学ぶ力の育成(基礎学力の向上及び家庭学習の充実)	○学力優秀者がいないクラスを0にする。 ○早期の進路意識の定着と自発的な学習意欲の向上を図る。 ○第1希望への進路合格率100%を目指す。	・公開授業週間を設定し、他の職員の授業参観を行い、授業の質の向上を目指す。 ・キャリアパスポートを体系的に取り扱い、有意なものにする。 ・早期に目標設定を行い、情報収集や面接指導のさらなる充実を図り、万全な受験対策を心がける。							・教務主任 ・進路指導主事
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳教育の全体計画に基づいて授業を行った教育を90%以上にする。	・月1回(毎月30日)に各教科・各分掌への実施状況把握確認を行う。 ・取り組み計画時期前に担当者への確認を行う。							・道徳教育推進教師 ・人権・同和教育担当者 ・教育情報化推進リーダー ・各学年主任
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止対策等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事業対応等)について組織的対応ができていないと回答した教員90%以上にする。	・面談週間や学校生活アンケートを通していじめや人間関係のトラブルの早期発見に努める。 ・対人トラブル予防プログラムや教育心理検査を行う。 ・学期に1回、情報共有会議を行う。							・生徒指導主事 ・各学年主任 ・教育相談担当
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える生徒95%以上にする。 ○朝食、睡眠がきちんととれている生徒の割合を90%以上にする。	・食育講話を実施する。 ・生活実態調査、食に関する意識調査を実施する。 ・食育だよりを発行する。							・保健主事 ・食育推進担当者
	●運動習慣の改善や定着化	○週1回以上の運動習慣を持つ生徒の割合を75%以上にする。	・アンケートを通して生徒の実態を把握する。 ・授業を通して、運動と健康の大切さを学ばせる。							・保健主事 ・体育主任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・職員会議資料の電子化をさらに進め、OneNote等で使用可能とし、見やすさと書き込みができる環境を実現する。 ・定時退勤推進日(毎週水曜日)を励行する。							・教頭 ・働き方改革推進委員
	○年休取得や部活動休養日が設定しやすい環境を整える。		・職員会議と職員研修や各種小会議を同日設定することにより効率化を図る。 ・定期考査の午後1時以降に極力行事を入れないように行事を精選する。							
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
★唯一無二の誇り高き学校づくり	★実践的・体験的な活動の充実と県内外への情報発信	★全校ボランティア各学期一回校外で行う。 ★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合を80%以上、教職員の割合を90%以上 ★一般選抜試験志願状況で学校全体の倍率が1.10倍以上を目指す。	・ボランティア活動が実施できるよう日程調整を行う。 ・保育の授業や食物の授業で習っていることを活かし、地域の子どもたちと交流を行う。 ・地域行政(唐津市等)と連携し、子ども食堂等へ学校生産物を提供する。 ・放課後や土日を利用して、地域の子ども食堂や子供のワークショップにボランティアへ行き、一緒に活動する。 ・生徒の学習成果を生かす場として、生徒が先生となる学校開放講座を開く。 ・各科の授業・実習の内容を写真や動画を交えて紹介し、各科への関心や進学意識向上を図る。							

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育 ★...唯一無二の誇り高き学校づくり

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------